

「失われた街」模型復元プロジェクト

記憶の街展覧会

志津川



未来へ繋ぐ、まちの記憶

志津川の復元模型 展示します。

失われた街
LOST HOMES
www.losthomes.jp

「記憶の街ワークショップ」とは、東日本大震災で失われてしまった、まちや集落を模型によって復元し、色鮮やかな「記憶の街」を作り上げていく催しです。「失われた街」から「記憶の街」へ。今もみなさまの心に残る志津川のまちの記憶を見に来ませんか？どうぞお気軽にお越し下さい。

[展示期間]

3/7(土) ▶▶▶ 3/15(日)

9:00 ~ 17:00 **参加・入場【無料】**

[会場]

南三陸ポータルセンター

南三陸町志津川字御前下51-1
(南三陸さんさん商店街隣接)



主催 | 「失われた街」模型復元プロジェクト

協力 | 一般社団法人 南三陸町観光協会

模型製作 | 神戸大学槻橋研究室

場所 | 南三陸ポータルセンター

お問合せ | 090-2046-5884 (神戸大学 小林)
もしくは 0226-47-2550 (南三陸町観光協会)



この取り組みはNHK仙台放送局の取材のもと、12月に番組として放送されます。



昭和53年の 志津川写真展

2015年3月7日(土) - 3月15日(日)

■開館時間: 午前9時~午後5時 ■会場: 南三陸ポータルセンター大型テント内

入場無料 (上記期間終了後の写真展示については不定期となります)



■写真提供/有限会社仙章堂 庄子喜隆様

私が大学3年生だった昭和53年。5月の連休に同じ写真部の友人と2人、気仙沼線を行く気動車に乗り「志津川」撮影に向かった。駅に降り立ち一眼レフを片手に歩き出すと、連休中とは程違い「静かな町」だった。気仙沼のような観光地ではなく、ここは「生活の地」なのだと感じながらシャッターを押し続けた。元々どこか懐かしい建物、町並みにレンズを向けてしまう性格で、ましてや八幡川に架かる橋が印象に残る浜の町は、一層町歩きを楽しませてくれた。

震災4年目の今、昭和の時代に撮影した「志津川」の写真がこうして皆様に観ていただく機会を得たのは、何か複雑な思いを感じますが、子供だった時や、まだまだ脂が乗っていた時など「昭和のあの時」が一枚の写真から思い起こす事が出来たのであれば大変嬉しく思います。

■プロフィール 1967年 仙台市生まれ。現在、宮城野区で印章業「有限会社仙章堂」を経営。
一級印章彫刻技能士、印章彫刻マイスターの資格を有する。2014年、篆刻の部で「河北賞」受賞。
学生時代に写真部に所属し、写真集として「社の部の路面電車」・「昭和のX橋界限」・「木造校舎に刻まれた童心」・「仙石線日線漫歩」を自费出版する。



3月8日(日) 午後1時~ 企画展内イベント開催予定 (自由参加型) ※途中入退場可 ■テーマ「ふるさとの記憶」トークセッション・手作りの記録誌づくりなど

主催/一般社団法人南三陸町観光協会 問い合わせ/一般社団法人南三陸町観光協会 tel 0226-47-2550 mail:post@m-kankou.jp